

# 平成30年12月期通期連結業績

## ご説明資料

於：アナリスト協会  
平成31年2月26日



OATアグリオ株式会社


証券コード：4979

# ◆OATアグリオグループ + クリザール



	2019年1月～（クリザール社含む）
会社名	OATアグリオ株式会社
事業内容	農薬、肥料・バイオスティミュラントの研究開発、製造及び販売
本社所在地	東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBFビルディング8F
設立年月日	2010年9月28日
資本金	4億6,190万円
決算期	12月
代表者	代表取締役社長 森 明平
従業員数	662名
（女性従業員）	200名
（外国人数）	408名
（研究開発人員）	119名
研究開発費比率	売上高の約10%

# ◆当社グループ

**OAT&IIL India Laboratories** ★

- 旭化学工業(株)
- (株)養液土耕栽培研究所
- OATアグリフロンティア(株) ★
- エイチニュー(株) ★ (株)インプランタイノベーションズ ★
- 潤禾(ジ11カ) (舟山) 植物科技有限公司 ★
- PT.OAT MITOKU AGRIO ★
- Asahi Chemical Europe ★

# + CHRYSAL

クリザール関連会社20社

関係会社  
国内:5社  
海外:7社

スペイン LIDA社 ★  
CAPA社

OAT Pakistan

# ◆ ESG、SDGs に対する実践

食糧増産が必須

エネルギーの  
大量消費

自然破壊

農薬使用による  
薬剤耐性の発生

地球温暖化  
局所的な気候変動

砂漠化・塩害・水質汚染  
世界の土壌の3割が劣化

新規開発を行っている  
農薬メーカーは約千社  
の中で日欧米の20数社

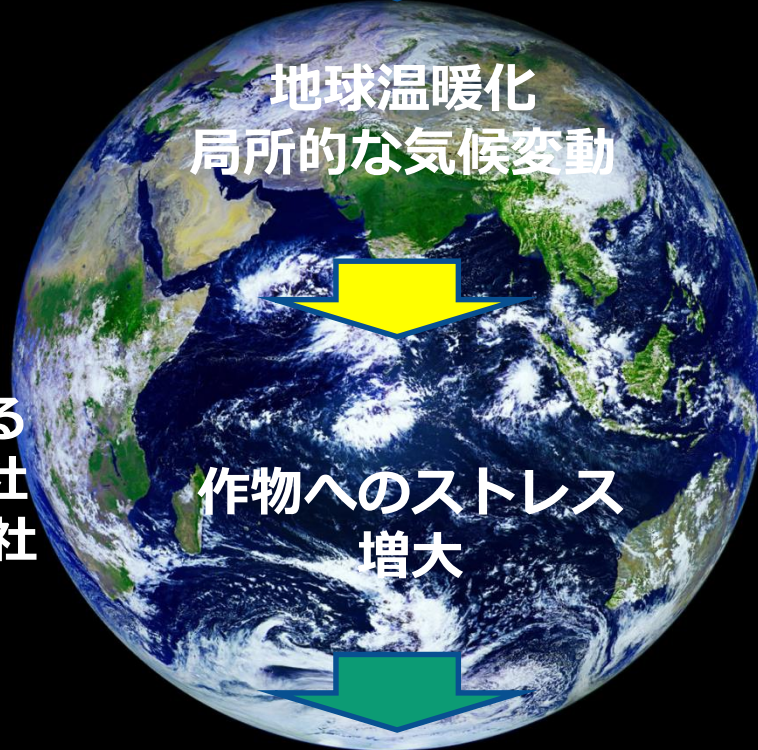
作物へのストレス  
増大

国連が2015年を  
国際土壌年とする

新規薬剤開発  
防除技術

免疫力の向上  
バイオスティムラント

必要最小限の水と肥料  
施肥灌水技術



# ◆企業理念と3つのアグリテクノロジー



ESG（環境、社会、ガバナンス）経営、SDG s（持続可能な開発目標）への積極的な取り組み



## 『企業理念』

食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で  
世界の人々に貢献します。

# ◆2018-2019/1 トピックス



- 2018年 ◆1月 バイオスティミラント協議会  
(2018年1月：正会員8社 2019年1月：正会員16社)
- ◆5月 エイチニュー株式会社設立 ★
- ◆7月 スペイン LIDA社 CAPA社買収 ★
- ◆8月 むさしのタネに出資 (OAT28.6%/ベルグ40%)
- ◆11月 インプランタインノベーションズ 子会社化 ★
- ◆11月 年間配当を36円から40円に増配を発表 ★
- ◆12月 ベルグアース株式会社と資本業務提携  
(50,000株 3.9%)
- ◆12月 クリザール関連20社の買収 ★
- 2019年 ◆1月 グローバルGAP取得 ★

# ◆ エイチニュー株式会社 設立 (2018年5月)

## エイチニュー株式会社

本社: 鳴門市撫養町小桑島字前浜180-1

四国徳島 ▶ 全国直送 E=hv H-New Corporation

# Edible Flowers

鳴門 食用花  
うずの華

きれいな花を  
いつでもお届け



## ◆ 2018年7月 スペイン・LIDA社／CAPA社を買収

## 【LIDA社・CAPA社】

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| (1) 所在地  | スペイン国 バレンシア              |
| (2) 代表者  | Ricardo Villuendas Segui |
| (3) 従業員数 | 34名                      |
| (4) 事業内容 | 農業資材の開発、製造及び販売           |
| (5) 総資産  | 956百万                    |
| (6) 売上   | 1,219百万                  |
| (7) 純利益  | 259百万                    |
- (2018年：1ユーロ＝125円で換算)



# ◆ スペイン 2社を買収（7月） （34名）



●天然の防除資材、肥料、バイオスティミュラントの開発、製造及び販売を行う LIDA社、CAPA社を買収。



Plant vaccine (抵抗性誘導剤) Plant biostress (防除資材)



★植物が本来持つ病害に対する抵抗性を応用したPhytovaccine と呼ばれる天然の防除資材の研究開発も積極的に行っている。

## 「光るシクラメン」の開発



これらの「光る花」は、深海に生息する海洋プランクトン的一种「キリディウス・ポペイ」から発見された蛍光タンパク質の遺伝子を遺伝子組換え技術を利用して純白のシクラメンに導入したものです。この蛍光タンパク質は、暗闇の中で青色LED(発光ダイオード)の光を当てると鮮やかな黄緑色の蛍光を発します。

世界らん展2019(東京ドーム)にて展示

蛍光灯照明下

LED照射下



(左)一般のシクラメン (右)組換えシクラメン

(左)一般のシクラメン (右)組換えシクラメン

## 「酸っぱいものを甘くさせるミラクリン」産生トマトの開発

◆ ミラクリンは、西アフリカ原産のミラクルフルーツに含まれ、酸味のある食品と一緒に摂取すると『酸っぱいものを甘く感じる』甘味誘導作用を有しているため、糖尿病患者向けの糖質制限やカロリーコントロールなど幅広い活用が期待されています。しかし、ミラクルフルーツは生育が遅く収量も不安定で大量栽培や安定流通が困難。

◆ ミラクリン産生トマトは、遺伝子組換え技術によりトマトにミラクリン遺伝子を導入することで世界で初めて作出しました。

### ◆商品開発・市場開拓

ミラクリントマト健康食品(医療用食品、ダイエット食品、サプリメント、代替甘味料)



ミラクルフルーツ



ミラクリン  
遺伝子



ミラクリントマト

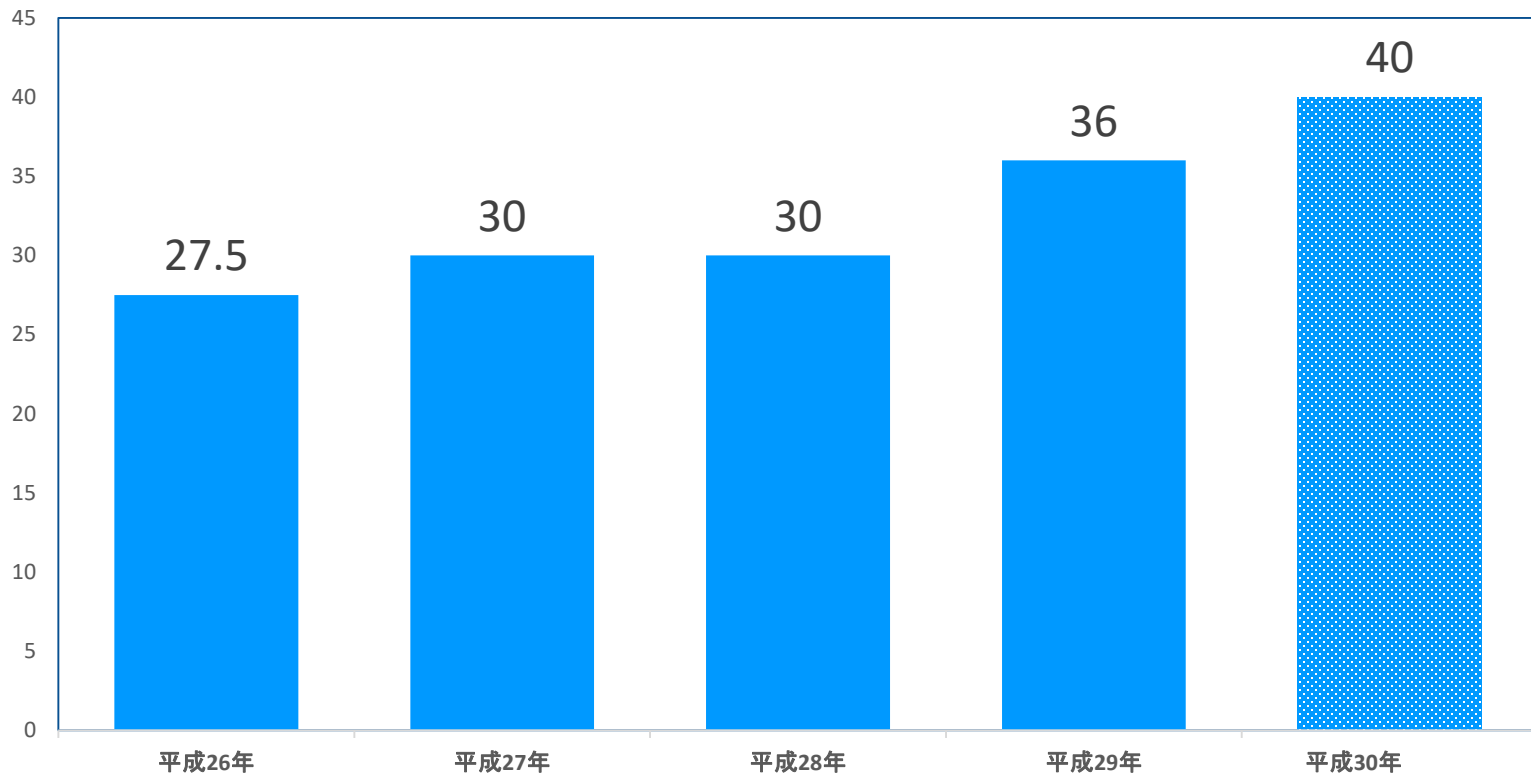
味覚は鍵と鍵穴(受容体)の関係に似ている



# ◆ 配当金の推移

※平成27年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っており、  
平成26年12月期については当該株式分割後の配当金額を記載

単位：円



安定配当を継続

◆2018年12月 世界No1ブランド オランダ・クリザール関連20社を買収

### 【クリザール関連20社】

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| (1) 所在地  | オランダ国 アムステルダム          |
| (2) 代表者  | Peter Vriends          |
| (3) 従業員数 | 278名                   |
| (4) 事業内容 | 花と植物の鮮度保持剤の研究開発、製造及び販売 |
| (5) 総資産  | 5,880百万                |
| (6) 売上   | 6,245百万                |
| (7) 純利益  | 243百万                  |
- (2018年：1ユーロ=125円で換算)

# ◆ クリザール社を買収（12月）（海外：259名 国内：19名）



**世界NO.1ブランド**

● クリザール商品  
花と植物の  
鮮度保持剤



# ◆ 鮮度保持剤の機能と買収の目的

## 花や植物

プレハーベスト

収穫

ポストハーベスト

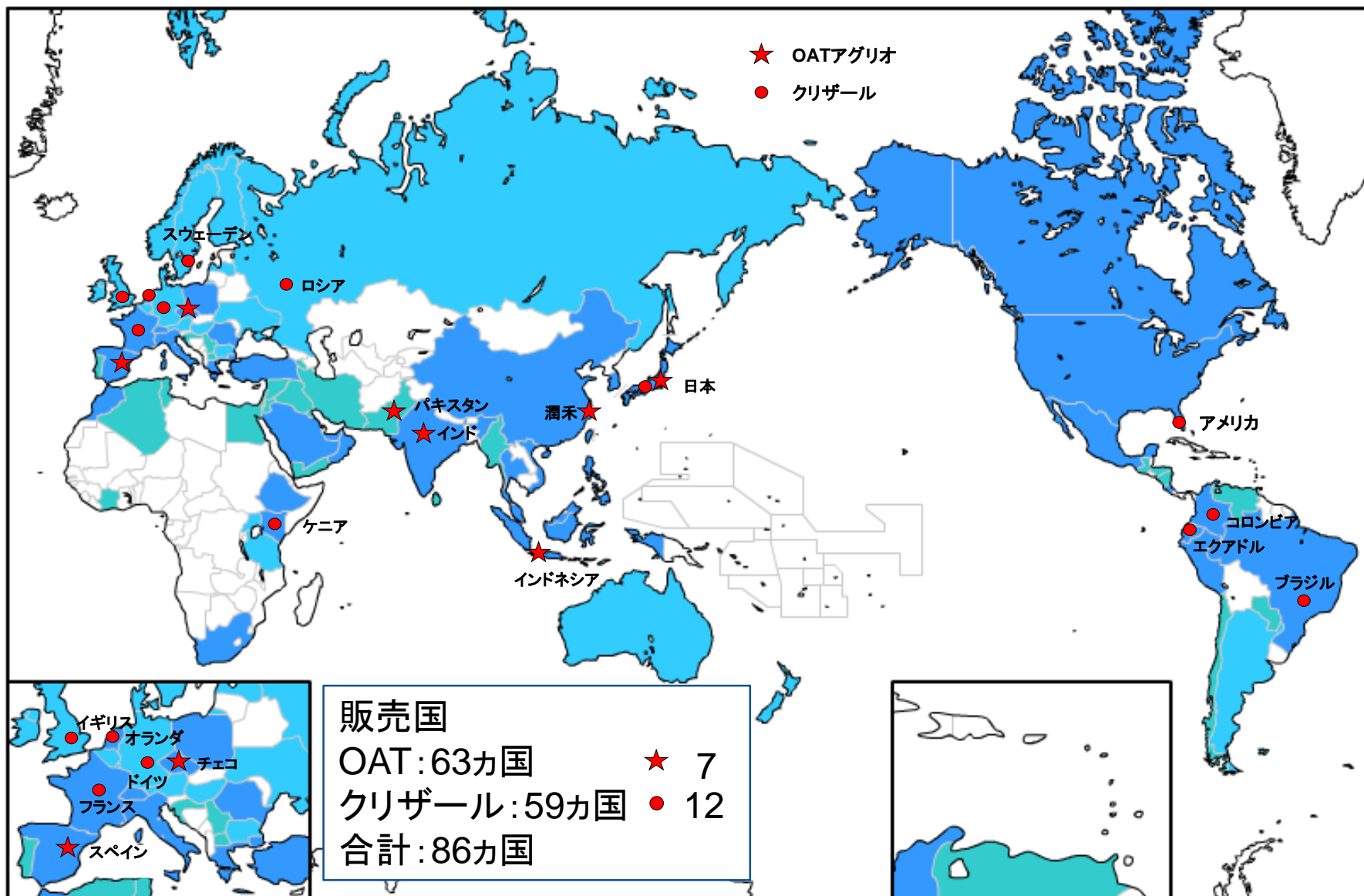
< 鮮度保持剤の機能 >

		OATの技術の応用
鮮度保持剤の機能	① 雑菌の繁殖抑制	防除技術 バイオスティミュラント
	② 栄養	施肥灌水技術

買収の目的	① 鮮度保持剤の開発に、OATの「防除・施肥灌水・バイオスティミュラント」の3つの技術が活用できる ② クリザールのブランド力と強固なサプライチェーンの活用 ③ 優秀な人材の確保
-------	---



# ◆OATアグリオ+クリザールグローバルネットワーク

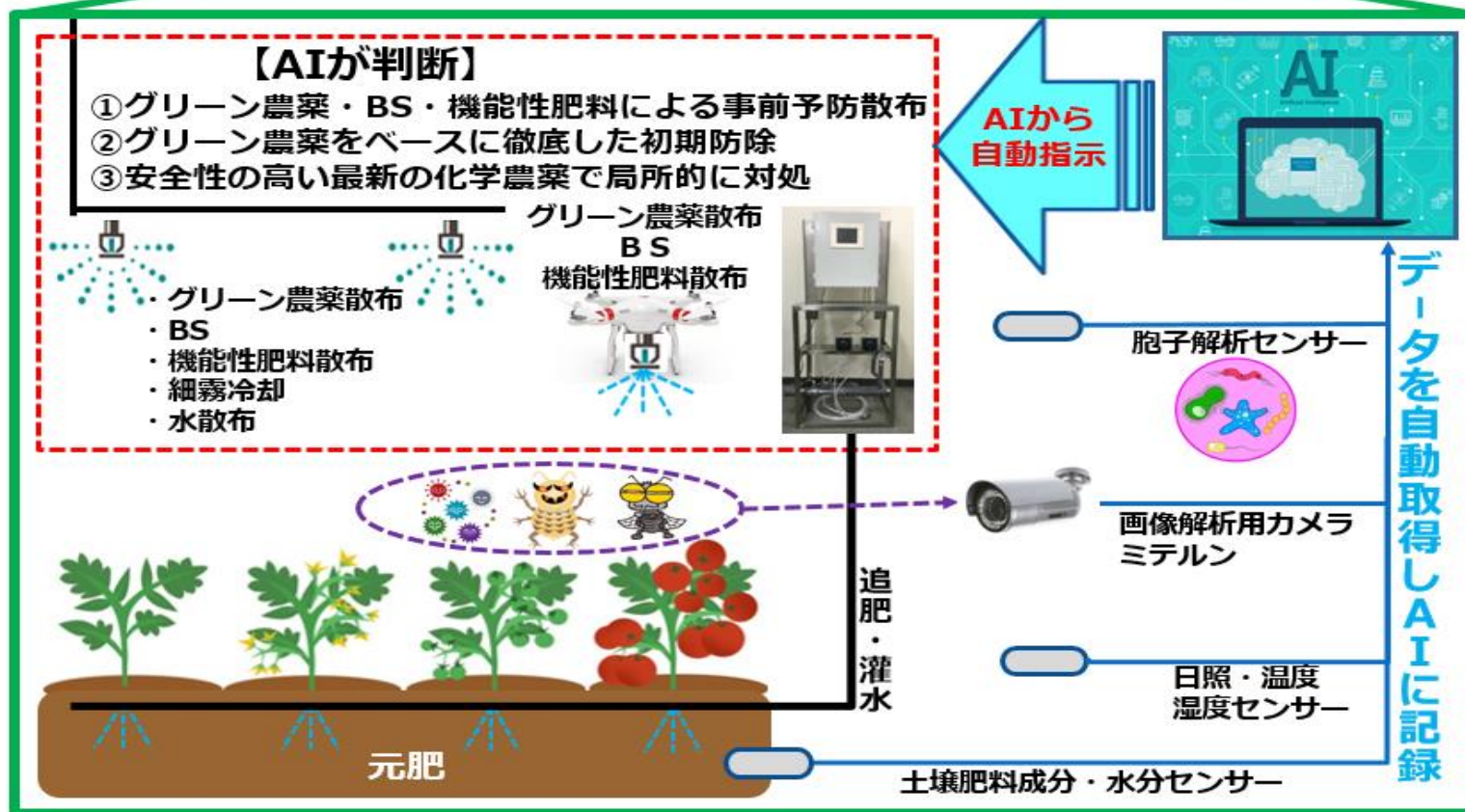


★2019年1月25日

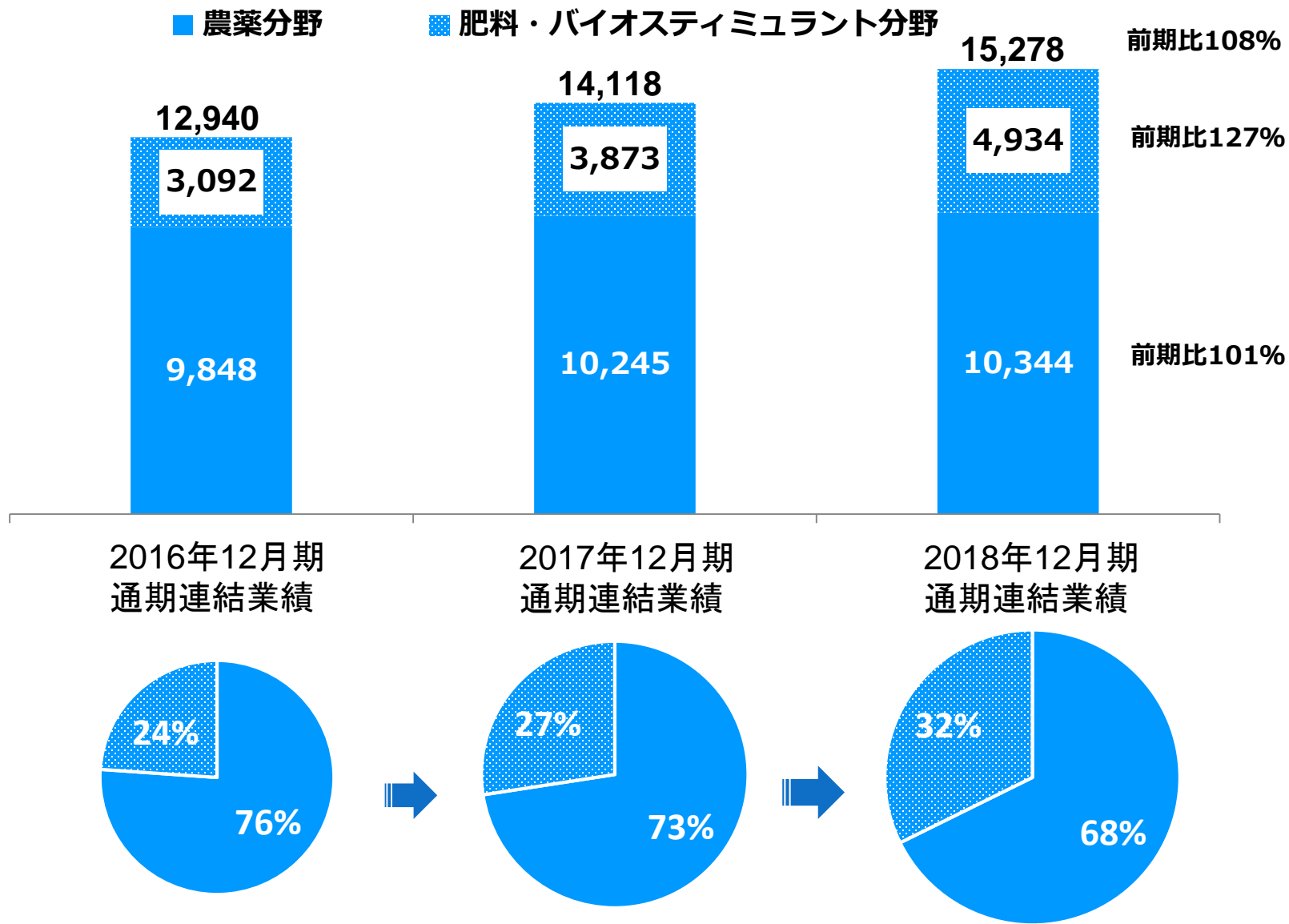
OATアグリオ株式会社 栽培研究センターのいちご栽培において「食の安全」、「環境保全」、「労働の安全」を国際標準の生産工程管理で実施する「GLOBALG.A.P.(グローバルギャップ)」の認証を取得しました。



## 内弁慶プロジェクト

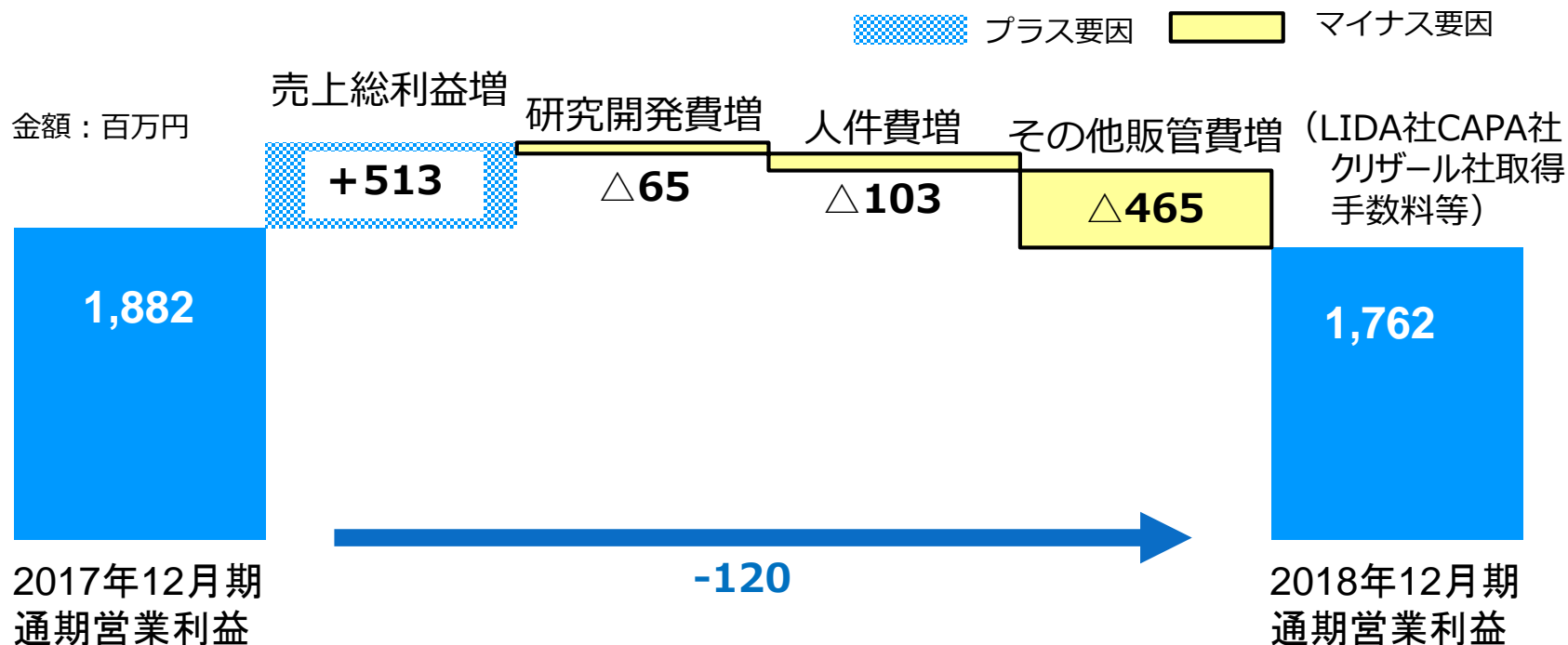


# ◆ 農薬分野と肥料・バイオスティミュラント分野



# ◆ 2018年12月期連結営業利益増減分析

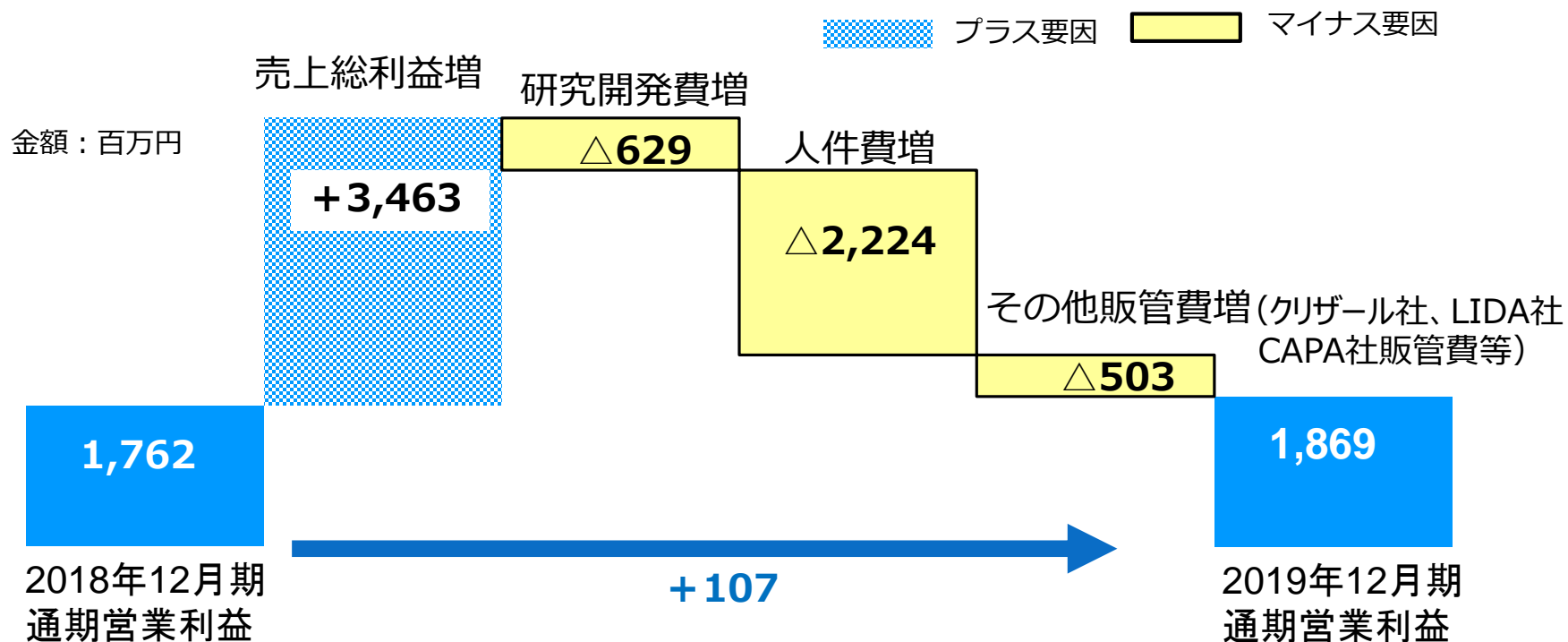
2018年12月期通期連結業績			
科目	2017年12月期 通期連結業績	2018年12月期 通期連結業績	前期比
売上高	14,118	15,278	108%
営業利益	1,882	1,762	94%
経常利益	1,890	1,757	93%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,298	1,257	97%



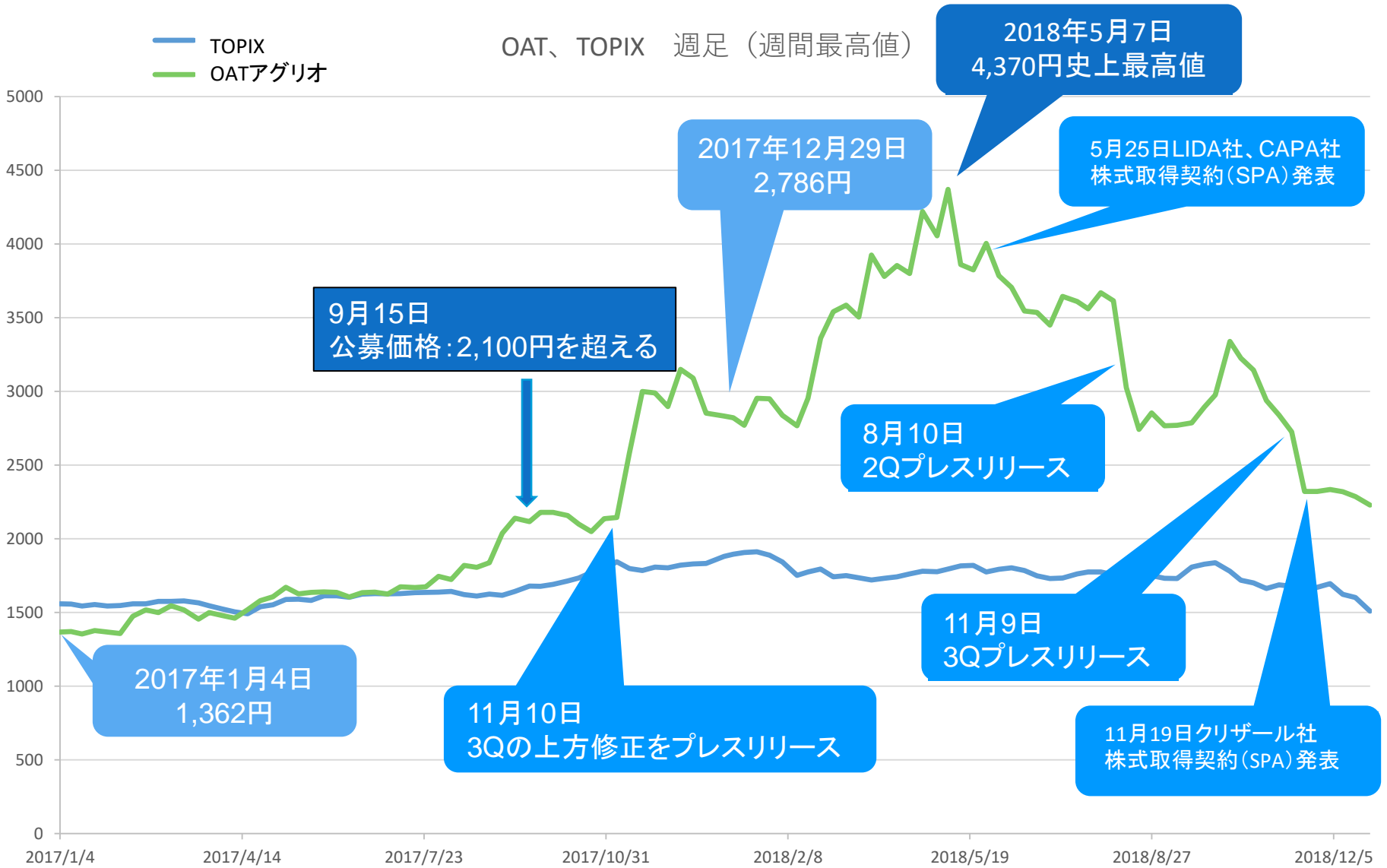
# ◆ 2019年12月期連結営業利益増減分析

## 2019年12月期通期連結業績予想

科目	2018年12月期 通期連結業績	2019年12月期 通期連結業績予想	前期比
売上高	15,278	22,995	151%
営業利益	1,762	1,869	106%
経常利益	1,757	1,676	95%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,257	1,007	80%



# ◆ OATアグリオ株価推移



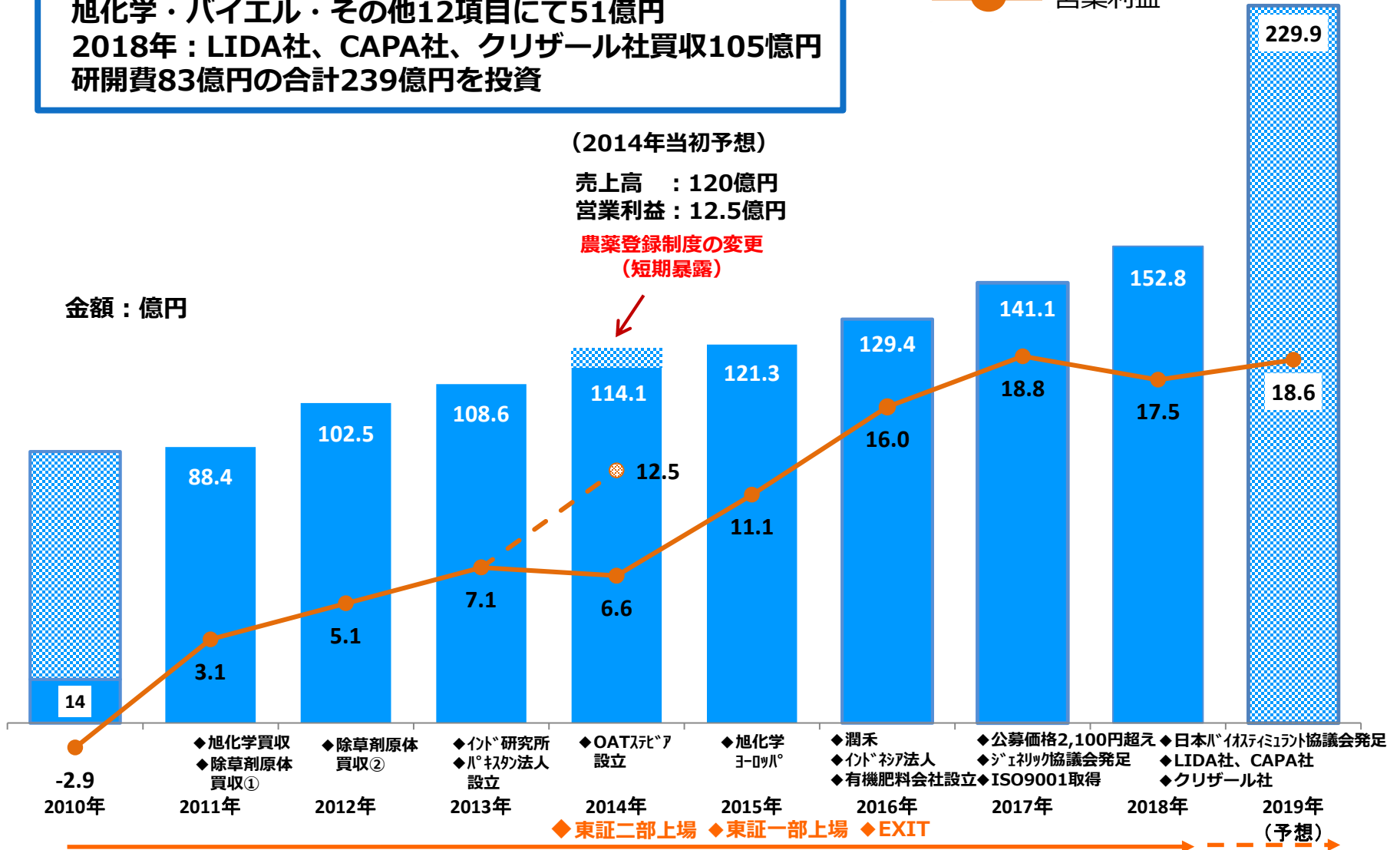
# ◆2010～2018年売上高・営業利益推移

◆2011-2018売上高 : Ave +8%  
 ◆2011-2018営業利益 : Ave +28%  
 旭化学・バイエル・その他12項目にて51億円  
 2018年 : LIDA社、CAPA社、クリザール社買収105億円  
 研開費83億円の合計239億円を投資

売上高  
 営業利益

(2014年当初予想)  
 売上高 : 120億円  
 営業利益 : 12.5億円  
 農薬登録制度の変更  
 (短期暴露)

金額 : 億円



◆旭化学買収  
 ◆除草剤原体買収①  
 ◆除草剤原体買収②  
 ◆イントロ研究所  
 ◆パキスタン法人設立  
 ◆OAT7社設立  
 ◆旭化学ヨーロッパ  
 ◆潤禾  
 ◆イントロ社法人  
 ◆有機肥料会社設立  
 ◆公募価格2,100円超え  
 ◆ジェリック協議会発足  
 ◆ISO9001取得  
 ◆日本バイオティミナット協議会発足  
 ◆LIDA社、CAPA社  
 ◆クリザール社

## ◆2022年、売上高300億円、営業利益30億円を目指します。 (持続的成長のためのミニマムユニット)

- LIDA社、クリザール社とのシナジー効果を追求いたします。
  - SDGsに貢献する研究開発を加速させ、新製品寄与率20%を達成いたします。
  - アトニックの新規展開を加速いたします。
  - 大型生産法人へのモニタリングを強化します。
  - 養液土耕栽培システム普及拡大に努めます。
  - 新栽培システム「内弁慶」を上市いたします(日本・中国・アジア)。
  - 生産性の向上により、更なる利益率の改善に努めます。
  - 全ての子会社を黒字化いたします。
  - 棚卸資産の圧縮により、営業キャッシュフローの改善を図ります。
  - プラスチック製包装材料の削減に努めます。
- 売上成長率8%台を維持します(2011-2018売上高 Ave+8%)。



**ご清聴ありがとうございました**

# ◆ 本資料の取扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関する見通し、将来に関する計画などが記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。